

日野市でレジ袋削減のための実証実験(レジごみ袋の導入)  
 ～ 明星大学デザイン学部の学生の発案のデザイン・PR 方法を活かした  
 スーパーマーケット及びコンビニエンスストアにおける実践 ～

◆協働実施事業者

日野市・明星大学・イオンリテール株式会社・株式会社セブン-イレブン・ジャパン

◆実施内容

- ・日野市が推進するプラスチック削減の取り組みのひとつであるレジ袋の削減を目的とした「レジごみ袋」の導入及び販売の実践を協働で実施(2022 年 9 月から順次販売開始)。

《レジごみ袋とは》

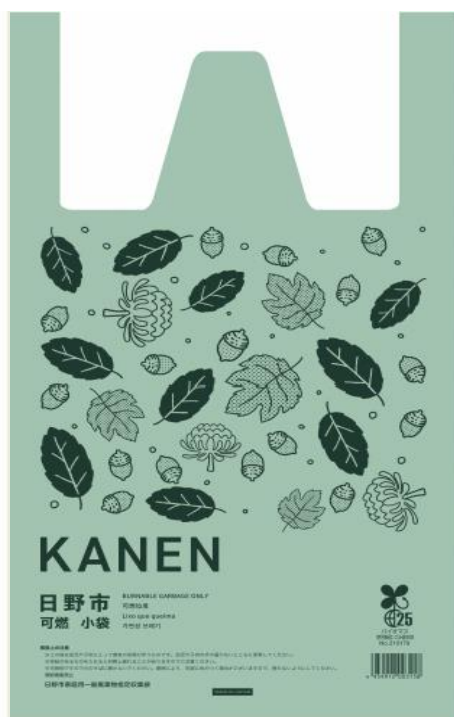
マイバッグを忘れた時やマイバッグに入りきらない買い物をした時などにレジ袋代わりに使える新たな市の指定収集ごみ袋。レジ袋を断り指定収集袋として活用できる「レジごみ袋」を購入することで、プラスチック袋が 2 枚(レジ袋、指定収集袋)から 1 枚(レジごみ袋)に半減し、環境負荷が軽減。

- ・明星大学デザイン学部生によるレジごみ袋のデザイン及び販売促進の提案を取り入れ、市内に店舗を有するイオンスタイル多摩平の森とセブン-イレブン加盟店においてレジごみ袋を販売。

※産官学連携での指定収集袋のデザイン・販売は全国初の取り組み

◆「レジごみ袋」のデザインコンセプト及び販売種類・サイズ等

レジごみ袋のデザインは、明星大学デザイン学部で本プロジェクトに参加してくれた大学生による15作品の中から、日野市職員(308 人)及び提案学生(15 人)の投票により、下記の作品に決定。



かわいく隠すレジ・ゴミ袋

- 市の花と木、菊と菊の葉、かしの葉のイラストを使用
- イラストや文字で中身を隠しつつ見やすいデザインに
- ポップなイラストでゴミ袋らしさを軽減
- 可燃をローマ字表記にし、レジ袋使用時の抵抗を減らす
- 文字を下に配置し、持ち帰り時に主張しないレイアウト

種 類	可燃袋	サイズ	小袋(10リットル)
金 額	通常のごみ袋と同一額で1枚20円（ばら売り）		
材 質	高密度ポリエチレン(HD-PE) 植物性由来バイオポリエチレン(Braskem)25%		
数 量	30,000 枚作成（100 枚×300 包）		

## ◆販売状況

(単位:枚)

	9月	10月	11月	合計
イオンスタイル多摩平の森	1,443	1,708	1,803	4,954
セブンイレブン各店舗(17店舗)	252	635	492	1,379